

現代倫理道德研究会（平成 30 年 4 月 11 日）発表要旨

明治天皇の御聖徳—グリフィスの観た The Mikado—

教育研究室

研究助手 後藤真生

平成 30 年度の共通テーマは、「『徳』について考える」であり、明治天皇の御聖徳も考えうるテーマである。

本発表では、米国人グリフィス（William Elliot Griffis, 1843～1927）の明治天皇観を、彼の代表作の一つである THE MIKADO（大正 4 年）を用いて再検討した。

具体的には、グリフィスが日本の歴史や文化、明治天皇についての研究を長く続けた上で、明治天皇を偉大な指導者と観て、その率先垂範の教育的意義を認めたことを指摘した。また、明治天皇の質素儉約に対する注目は廣池博士に共通すると述べた。さらに、天皇が日本の象徴（symbol）として捉えられたことを指摘し、グリフィスが明治天皇に象徴性を見出したと考えることもできると述べた。

今後の課題として、より具体的かつ精密な検討が残っている。『世界に於ける明治天皇』やグリフィスコレクションなどの史資料を活用して、検討や比較を重ねれば、グリフィスの明治天皇観の特色がより具体的に明らかになると思われる。